

2025 年 経営コンサルタントの倒産、 14 件で過去最多を更新

小規模倒産が大半を占める



本件照会先

石倉 達也（調査担当）
帝国データバンク
福岡支店情報部
092-738-7779(直通)
tdb.fukuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/01/19

九州・沖縄「経営コンサルティング業界」の倒産動向(2025 年)

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025 年(1-12 月)の経営コンサルタント業の倒産件数は 14 件となり、2000 年度以降の集計で過去最多を更新した。負債総額は 3 億 2200 万円。小規模倒産が目立つ。

帝国データバンク福岡支店は、九州・沖縄地区の「経営コンサルタント業」の倒産発生状況について調査・分析を行った

集計期間:2000 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日まで

集計対象:負債 1,000 万円以上・法的整理による倒産

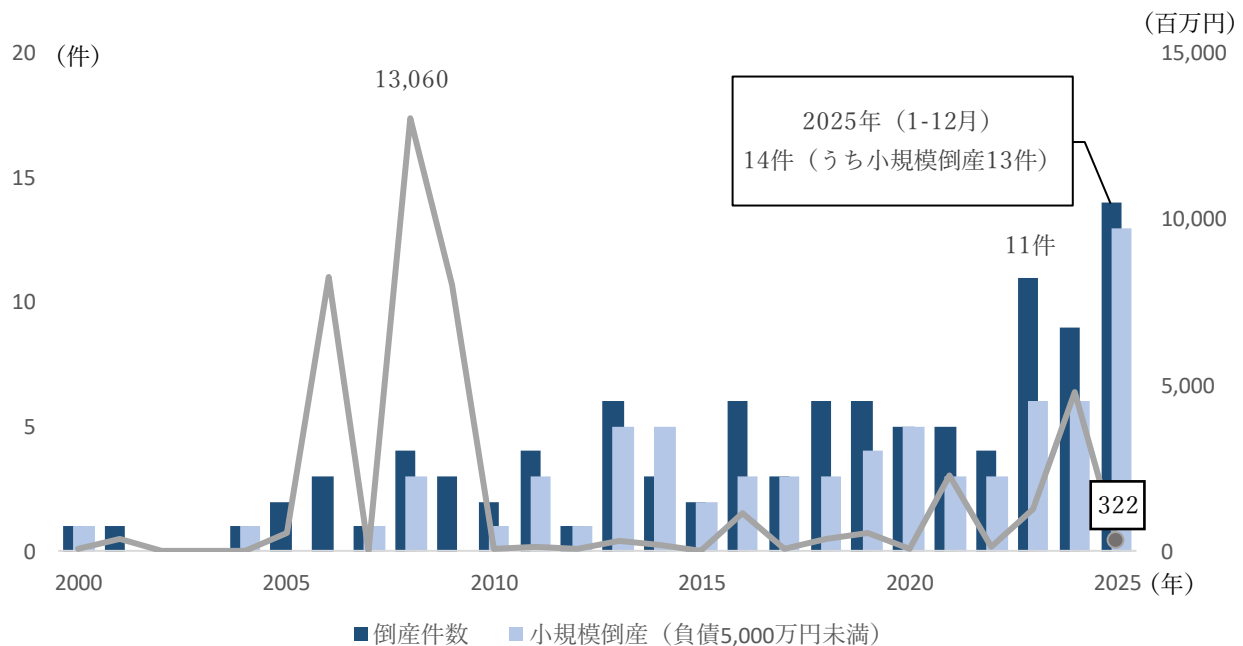
2025 年は 14 件、過去最多を更新も小規模倒産が目立つ

2025 年(1-12 月)の経営コンサルタント業の倒産は 14 件発生。集計基準を変更した 2000 年以降の集計で最も多かった 2023 年の 11 件を上回り、過去最多を更新した。態様別では、14 件すべてが破産、県別では福岡が 10 件で最多。そのほか、熊本と沖縄で各 2 件発生した。負債総額は 3 億 2200 万円にとどまり、負債額が 5000 万円未満の倒産が 13 件発生と小規模倒産が目立つ。また、業歴別では、創業・設立から 10 年未満の倒産が 9 件発生し、半数超を占めるなど比較的業歴の浅い事業者の倒産が目立っている。

経営コンサルタント業は、設備投資が軽微で初期投資が比較的安く抑えられるため参入障壁が低く、新規事業者が市場参入しやすい。また近年では、証券会社や銀行といった他業種も、取引先のコンサルティング業務に携わるなど経営の多角化を図っており、競合が激化している。同業他社との差別化を図ることが難しく、受注量や受注単価が伸び悩むなか、広告宣伝やセミナー運営などに掛かるコストは上昇していき、経営環境が厳しくなっている様子がうかがえる。

今後は、生成 AI などの台頭もあり、単純な資料作成や申請業務といった経営コンサルタント業者が担っていた業務を AI が担い、より一層の競合激化が考えられる。企業の存続をかけた競争が激しくなるなか、同業他社や AI との差別化、多様化する顧客のニーズに対応することが、今後求められていくだろう。

九州・沖縄地区 経営コンサルタント業倒産件数・負債額推移



2000年以降 負債10億円以上の倒産企業

| 年月 | 企業名 | 所在地 | 負債額 |
|---------|-------------------|-----|-----------|
| 2006年3月 | 株式会社エヌシーマネジメント | 熊本 | 75億円 |
| 2008年4月 | エフ・エー・シー株式会社 | 福岡 | 130億円 |
| 2009年1月 | 株式会社サイバーファーム | 沖縄 | 79億円 |
| 2021年8月 | 株式会社ロジック | 熊本 | 15億4000万円 |
| 2024年6月 | 株式会社 S C ホールディングス | 福岡 | 43億4100万円 |